



**エコアクション 21 全国交流研修大会  
in九州くまもと 2008  
環境活動レポート**

**平成 20 年 10 月 17・18 日(金・土)**

**発行:エコアクション 21 全国交流研修大会in九州くまもと 2008 実行委員会**

**事務局:NPO法人環境技術協会**



熊本城築城 400 年

## I. 開催趣旨

中小企業、学校、公共機関などあらゆる組織が、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への取組の目的をもち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、公表する」方法として、環境省が策定した「エコアクション21環境経営システム・環境活動レポートガイドライン2004年版」の普及を図るとともに、その認証・登録制度を行う事務局、審査人さらには関係企業（認証・登録事業者等）、関係自治体等の関係者が一堂に会し、情報やノウハウを交流し、研鑽を積み、親睦を深め、エコアクション21のより一層の発展を図り、一般市民にも広くエコアクション21を周知するために開催することを目的とする。

## II. 環境方針

本大会では、  
全ての参加者が環境配慮行動を実践します。

本大会では、  
環境配慮に関する情報を発信します。

本大会は、CO<sub>2</sub>、水、廃棄物の削減を図るため、

- ・ 環境に配慮した計画
- ・ 環境に配慮した会場サービスの提供  
によって運営します。

2008. 7. 4

エコアクション21全国交流研修大会実行委員会

**委員長 内野矜自**

### Ⅲ. 環境配慮行動と環境目標

#### 【全ての参加者が環境配慮行動を実践します】

全ての参加者に環境配慮行動を実践いただくため、大会案内でそのことを周知しました。そして、参加者に対して環境に配慮した行動に関するアンケート調査を実施し、実施率を把握することとしました。

#### 【環境配慮に関する情報を発信します】

関係者のみならず、広く市民に対して環境配慮を呼びかけるため、環境配慮行動の原点となる「足るを知る」を目的として、「懸命に生きる子供達」を公演いただきました。

#### 【CO<sub>2</sub>、水、廃棄物の削減を図るため、環境に配慮した計画、環境に配慮した会場サービスの提供によって運営します】

CO<sub>2</sub>：アンケートにより利用した交通機関の情報を収集して排出量を試算しました。

今回が初めての試みで、基準とする数値がなく目標の設定は行いませんでした。

水：削減計画の立案は困難でしたので、熊本市からオフィシャルウォーターを提供いただき、熊本市の誇る地下水をPRしました。

廃棄物：マイ箸の持参や残食率の削減を図るとともに、ペットボトルの完全分別回収を実施しました。

### Ⅳ. 大会概要

大会名称 「エコアクション21全国交流研修大会 in 九州くまもと 2008」

テーマ 「効果的なエコアクション21の継続のために」

- 開催日：平成20年10月17日（金）13：00～18日（土）12：30  
18日13：30からの事例発表は自由参加。
- 会場：ホテルニューオータニ熊本
- 主催：財団法人地球環境戦略研究機関（持続性センターエコアクション21中央事務局）  
特定非営利活動法人環境技術協会（エコアクション21地域事務局環境技術協会）
- 主管：エコアクション21全国交流研修大会 in 九州くまもと 2008 実行委員会
- 協力：九州及び沖縄の地域事務局とエコアクション21審査人  
NPO法人九州環境カウンセラー協会
- 後援：環境省・熊本県・熊本市・山鹿市
- 参加者数：

エコアクション21審査人	195人
事務局等関係者	39人
事業者	62人
一般市民	30人
計	326人

8. プログラム：

名 称	概 要	
第 1 日目・10 月 17 日(金) 12:00 受付開始		
開会挨拶 (13:00)		
特別講演	「足る」を知るためのセミナー「懸命に生きるこどもたち」 講師：NPO 法人アジアチャイルドサポート 代表理事 池間哲朗 氏 ※一般市民の方々も参加いただけます	
分科会 (15:30～18:00)	分科会Ⅰ：審査・判定に関する分科会	
	分科会Ⅱ：地域事務局のための分科会	
	分科会Ⅲ：事業者のための分科会 ※5 業種に分けて実施します	
懇親会 (18:30～20:30)	※環境に配慮した大会開催の為、マイ箸をご持参下さい。	
第2日目・10月18日(土)		
全体研修会 (9:00～11:40)	第 1 部	エコアクション21の最新動向 エコアクション21中央事務局次長 森下 研
	第 2 部	循環型社会における廃棄物処理法の理解と実践 弁護士・エコアクション21判定委員会委員 佐藤 泉
	第 3 部	見落とししやすい法的要求事項と留意点 最近の環境関連法規の改正動向 エコアクション 21 参与・審査人認定委員会委員 ・判定委員会委員 鈴木 敏央
表彰式・閉会式 (11:45～12:30)	「環境活動レポート大賞・九州」表彰式・交流研修大会閉会式	
事例発表会 (13:30～15:30)	発表会Ⅰ：製造業	※5つの会場に分かれての開催となります。
	発表会Ⅱ：建設業	
	発表会Ⅲ：廃棄物処理業	
	発表会Ⅳ：サービス業	
	発表会Ⅴ：自治体・教育機関等	

の部分は、有料研修となります。その他のプログラムについては、一般の方も無料で参加いただけます。

**必読！**

- ・ 特別講演、事例発表会は一般市民の方もご参加いただけます。
- ・ 事業者のための分科会と事例発表会は、業種別に分けて実施しますが、該当しない業種の方は、業務内容の近い分科会、発表会へご参加下さい。
- ・ 審査人、地域事務局の方は、1日目の受付（特別講演も含む）から2日目の全体研修会までの参加とその後のアンケートの提出をもって研修を修了したものとします。なお、事例発表会への出席は、研修修了の条件にはなりません、参考のため奮ってご参加下さい。
- ・ 環境へ配慮した大会開催といたしますので、来場の際は、公共交通機関のご利用に御協力下さい。また、懇親会へ参加される方は、マイ箸をご持参下さい。

## V. 環境への取組自己チェックの結果

委員会運営、大会計画、大会運営、参加者の環境配慮行動について、取組を○×△で自己チェックしたところ、以下のような結果となりました。

### 1. 委員会運営

関係する全ての委員会において、委員会終了時にその場で自己チェックした結果を集計して整理しました。

(平成20年1月から9月までの間、委員会開催全11回、その内、自己チェックの対象とした委員会計8回)

No	内 容	評価	コメント
1	公共交通機関の利用状況	○	
2	会場使用における節電行動（照明・空調設定温度）	○	
3	ペーパー資料の削減を図った運営	○	プロジェクター使用
4	ペットボトルやビン・缶飲料の利用	○	

### 2. 大会計画

最終の実行委員会終了後、大会事務局責任者が自己チェックしました。

平成20年8月26日（火）第3回実行委員会・会場：熊本市国際交流会館

No	内 容	評価	コメント
1	運営関係者への環境配慮計画の周知	○	
2	来場者への環境配慮計画の周知	△	市民への周知不足
3	会場への環境配慮計画の周知	○	ホテル
4	配布資料の環境配慮計画	△	考慮不足
5	環境活動レポートの発行計画	○	認証・登録はしない

### 3. 大会運営

2日間の大会終了後、大会事務局責任者が自己チェックしました。

平成20年10月17・18日（金・土） 会場：ホテルニューオータニ熊本

#### 1 運営

No	内 容	評価	コメント
1	運営関係者の環境配慮行動	○	運営関係者対象
2	来場者の環境配慮行動	○	〃
3	会場の環境配慮行動	○	〃
4	配布資料の環境配慮	△	様々な情報過多
5	環境活動レポートの発行	○	

## 2 会場におけるサービスの提供（ホテルニューオータニ熊本）

No	内 容	評価	コメント
1	空調設備の使用	×	運転管理に問題あり
2	照明の使用	○	
3	飲料サービス	○	
4	懇親会での食材の地産品使用	○	地産品使用率参照
5	懇親会での料理提供量（○適量・△不足・×過多）	△	不足気味
6	箸や器など食器類	○	
7	料理の食べ残しや箸、ナプキン類の分別	○	
8	喫煙環境の分離	×	会場の都合で不能

## 3 環境配慮に関する情報の発信

No	内 容	評価	コメント
1	メッセージ	×	特に発信しなかった
2	特別講演	○	好評でした
3	開会挨拶	○	
4	各分科会	○	
5	懇親会	○	
6	全体研修会	○	
7	事例発表会	○	大変参考になりました
8	配布資料	△	不足していた
9	掲示物・展示物	○	環境機器情報の提供


## 4 参加者の環境配慮行動（環境配慮行動に関するアンケートの結果）

No	内 容	評価	コメント
1	マイ箸持参率 57%	○	事前をお願いした
2	マイボトル持参率 23%	△	お願いしなかった
3	マイカップ持参率 5%	×	同上
4	マイバック持参率 63%	○	同上

### 【備考】

- その他、主に以下の環境配慮行動がなされました。（ ）内は回答者数  
エコドライブ（10）・努めて公共交通機関を利用した（50）・ホテル内での節電と節水（17）・懇親会における完食努力（10）・ごみの分別（14）・出来るだけ歩く（23）・ごみの発生抑制（12）
- 評価は、概ね60%以上を○としました。他は、自己チェック実施者の主観によります。
- マイ箸以外はお願いしていませんでしたが、皆さんの意識が高いことが分かりました。

# 食材地産品使用率

		 HOTEL NEW OTANI KUMAMOTO Kumamoto City, Japan Tel:(096)326-1111		
立 食				
冷 製 :	(洋)	主に熊本の食材を使っの美味前菜12種盛り合わせ	45%	
	(洋)	海の幸とアボカドのヘルシーカクテル グラス盛り	30%	
	(洋)	馬刺しのカルパッチョ	95%	
	(洋)	主に熊本の食材を使っのヘルシーサラダバー ノンオイルドレッシングで	60%	
	【和】	阿蘇久木野そば 葉味三種	95%	
	【和】	天草産海ノ幸姿造り盛り合わせ	75%	
	【和】	地鯨のにぎり、細巻寿司、手巻寿司、太巻寿司盛り合わせ	50%	
	【和】	味彩牛の冷しゃぶ 大皿盛り	90%	
	温 製 :	★(洋)	熊本のフレッシュトマトで作ったブタネスカ スパゲッティ クッキングサービス	65%
		★(洋)	天草りんどうポークロース肉のカツサンド クッキングサービス	85%
(洋)		体に優しいコンソメスープと秋の茸のフラン ほのかな生姜の香り	90%	
(洋)		阿蘇地鶏もも肉のグリル 矢部産柚子ソース	95%	
(洋)		鴨フィリングとベーコン、サラミのピッツァ	30%	
【和】		阿蘇高菜のじゃこ御飯	85%	
【和】		赤茄子と豚バラ、コンニャクの味噌煮	50%	
【和】		牛深産鰯の燻製入りおでん一式	35%	
【和】		間八と大根、焼豆腐の田舎煮	50%	
デザート :		(洋)	ペストリーシェフ特選スイーツ	20%
	(洋)	主に熊本産を使ったフルーツの盛り合わせ	55%	
	(洋)	オータニブレンドコーヒー		

※ ホテルニューオータニ熊本により食材の重量を基に算出

## VI. CO2 排出量の算出

カーボンオフセットを検討しましたが、合理的な方法を組み立てられず断念しました。しかし、CO2 排出量を把握すべく、アンケートを実施し、その回答結果から次のように算出しました。

※アンケート回収率約 88%！

くまもと大会参加者の移動に伴うCO2排出量  
(但し、アンケート提出者260名分について)

2008年11月1日  
宮寺 健

都道府県	アンケート人数	利用した主要交通手段(人)					(第1次算出)CO2排出量(片道)(kg)	(第2次算出)CO2排出量(片道)(kg)	(第2次算出)-(第1次算出)	備考
		飛行機	JR	高速バス	自家用車	分類せず				
北海道	5	5				1,040.4	1,061.6	21.2		
青森								0.0		
秋田	1	1				184.8	184.0	-0.8		
岩手								0.0		
山形	2	2				292.1	292.1	0.0		
宮城	1	1				145.9	142.2	-3.7		
福島								0.0		
新潟	1	1				128.5	128.5	0.0		
富山	2	2				367.3	277.6	-89.7	小松～福岡APの直行便の見落とし	
石川	3	2	1			385.7	204.5	-181.2	小松～福岡APの直行便の見落とし	
群馬	2	2				244.0	244.0	0.0		
栃木	2	1	1			153.1	153.1	0.0		
茨城	4	4				506.6	504.6	-2.0		
埼玉	6	6				736.7	737.6	0.9		
千葉	13	13				1,591.2	1,606.6	15.4	詳細見直し	
東京	21	20	1			2,479.1	2,478.9	-0.2		
神奈川	24	24				2,946.3	2,942.6	-3.7		
長野	5	5				586.6	584.2	-2.4		
山梨	1	1				124.5	124.5	0.0		
静岡	19	8	10	1		1,177.5	1,186.6	9.1	詳細見直し	
岐阜	3	1	2			122.1	124.2	2.1		
愛知	6	5		1		476.6	475.0	-1.6		
三重								0.0		
滋賀	4	4				296.7	296.5	-0.2		
京都	1		1			16.5	16.5	0.0		
奈良	2	1	1			87.0	86.8	-0.2		
和歌山	1	1				71.5	71.5	0.0		
大阪	9	6	3			467.3	467.3	0.0		
兵庫	18	7	10	1		677.4	675.1	-2.3		
鳥取	1	1				13.8	13.8	0.0		
岡山	3	1	2			106.6	106.9	0.3		
島根	4	3	1			357.2	295.6	-61.6	空路の取り違い	
広島	7	7				58.3	59.7	1.4		
山口	2	2				11.7	11.7	0.0		
愛媛	2	1	1			52.2	51.5	-0.7		
香川								0.0		
徳島	4	2	2			161.8	161.8	0.0		
高知	1	1				50.2	50.2	0.0		
福岡	28		28			77.7	79.5	1.8		
佐賀	3		2	1		10.8	10.8	0.0		
長崎	7		4	1	1	60.6	60.6	0.0		
熊本	23				23	29.9	50.7	20.8	2日分の値に修正、詳細見直し	
大分	3		1		2	33.0	33.0	0.0		
宮崎	3			3		31.2	31.2	0.0		
鹿児島	7		7			97.3	93.4	-3.9		
沖縄	6	6				705.8	718.1	12.3	詳細見直し	
合計	260	137	88	8	3	24	17,163.5	16,894.6	-268.9	
							往復排出量 34,327.0	33,789.2	-537.8	

- CO2 算出は (株) ヴェル研究所の「駅すばあと」による。「駅すばあと」は交通エコロジー・モビリティ財団が発行する「運輸・交通と環境 2005 年版」をデータベースにしている。
- 交通手段により個別に CO2 量を求める場合は、「駅すばあと」により求めた次の値を用いた。  
自家用車 0.172、飛行機 0.111、バス 0.050、鉄道 0.019
- CO2 排出量算出手順

### 移動経路の整理

- 都道府県ごとに主要移動手段により分類
- 車の使用の拾い出し。距離の申告のないものは、大都市近郊は 5km とし、地方では地図から概略距離を求めて使用。
- バス使用の拾い出し。距離の申告のないものは、大都市近郊は 5km とし、地方では地図から概略距離を求めて使用。
- 複数の人が異なる出発駅の場合、平均的な距離の駅を出発点とした。
- 車、バス、等の個別の CO2 は上記の交通手段毎の値を用いて算出した。

### 4. 算出例 岐阜県 3名

- 飛行機：1名 多治見～金山～中部国際空港～熊本空港～熊本駅前「駅すばあと」により 86.1kg
- 鉄道：2名 多治見、岐阜～熊本駅出発駅多治見とし「駅すばあと」により 18.3kg (×2人)
- 車使用：7km  $7 \times 0.172 = 1.2\text{kg}$  (アンケート結果から計算)
- バス使用：6km  $6 \times 0.050 = 0.3\text{kg}$  (アンケート結果から計算)
- 合計 CO2 量： 124.2kg

### 5. 参加人数による排出量の補正

- 全参加人数 326 名の内 30 名の一般市民参加者数を差し引き、往復排出量を 296/260 とする。
- $33,789 \times 296/260 = 38,467\text{kg} - \text{CO}_2$  となるが、この値に一般市民の排出分を加味し 39 t とする。



## Ⅶ. アンケート意見に対する回答、説明

アンケートでいただいたご意見等に対して、次のように説明申し上げます。なお、掲載したご意見に関しましては、全てを対象とせず適宜抽出したものです。

No	ご意見等	ご説明
1.	本アンケートの目的が不明（結果をどのように活用するのか）	環境活動レポートをまとめるために実施しました。
2.	九州の EA21 のポスターをもらったが、何の目的で渡したのでしょうか。	九州地方環境事務所では、エコアクションの普及のために、ポスターやリーフレットを作成していただくなど、積極的な支援をいただいています。他の環境事務所では如何でしょうか。九州の例を各地の環境事務所にお伝えいただき、普及啓発のためのツール作成等を働きかけては如何かと考えました。
3.	事業者側として参加しましたが、審査人様、地域事務局様と合同で研修のオープンな感じに大変感動し、参考になりました。	事業者の皆様が環境経営を支援するのが審査人や地域事務等関係者の務めです。事業者の皆様とともに研鑽を積み、効果的な仕組みを作り上げたいと考えています。
4.	「イベント EA21」の適用をされているのですか？	当初は、イベント認証を受けるつもりで計画しましたが、①誰が審査するのか。②審査と登録の費用が生じる。③次回以降の大会も既定のことになる。④認証登録機関自らを認証登録するのか。などの疑問が生じたため。レポートは発行するが、認証登録は見送ることとなりました。
5.	熊本市水道局より、ペットボトル入りの名水をいただきありがとうございました。しかし環境的に考えると、水は水道から出るものをそのまま飲めばよい。	まったくその通りです。しかし、長時間の研修では飲料を購入される方が多いことも事実です。そして、熊本市の誇るべき地下水をアピールしたいとの思いもあり、地元で生産されているオフィシャルウォーターの提供を熊本市からいただきました。経済と環境の両立を目指したいと考えます。
6.	特別講演は素晴らしい内容であった。今後もこのような企画を是非お願いしたい。	ありがとうございます。「足るを知る」ことが環境への取組みの原点と考えた結果のことです。ごく少数の方ですが居眠りをされていたことや「環境に関する大会でこのテーマを選択した意味が分からない」等の意見もありましたが、多くの方々から、「衝撃的であった」等好評をいただきました。
7.	配布物が多い。	ご指摘の通りで反省しています。様々なご要望に応えたいとの思いや、多くのお伝えしたいことがあ

		り、結果として配布物が多くなりました。紙袋は、熊本国際観光コンベンション協会から、熊本市のPRのためいただいたもので、事前の資料準備の都合や参加者の皆様の利便性を考えてのことです。悪しからずご理解ください。
8.	次の大会からは「カーボンオフセット」運営を行ってはいかがでしょうか？	アンケートで移動交通手段をお尋ねしたのは、Co2排出量を計算し、今後のカーボンオフセット運営の参考とするためです。「VI. CO2 排出量の算出」を参照ください。
9.	マイ箸持参となっていました、会場に割り箸が置かれていたので、多くの方が割り箸を使用していたように思います。いかがなものでしょうか。	持ってこられなかった方や無くしてしまった方のために用意しましたが、その点のアナウンスが不足していたと反省しています。しかし、マイ箸の持参率は6割近くに達し、皆さま方の意識の高さを知ることができました。
10.	地域の表彰を見せるのはよけいではと思います。(「エコアクション21 環境活動レポート大賞・九州」表彰式に対してのご意見)	全国大会の開催を契機として創設した事業です。他の地域の参考になればとの思いと、事業者の励みになりますので実施しました。決して余計なことではなく、多くの関係者が事業者の取組みを称賛し、盛り上げていくことが必要と考えます。エコアクション21の普及広報の一環としてご理解ください。
11.	トイレのペーパータオルは、開催時だけでも使用中止させるべきだと思います。	そこまで気が付きませんでした。配慮が欠けていました。しかし、マイ箸同様にハンカチを忘れた方のことや、一般の利用者のことを考えると実施には困難な面があります。
12.	ペットボトル分別（キャップ、本体、etc）は初めてでここまでやるかと思いました。	熊本では当たり前のことですが、地域によって異なります。審査の際にも、地域性をよく把握して臨むことの必要性を改めて認識しました。
13.	会場設定問題「ホテルオオタニ」無駄な出費の代表、主催者側の姿勢？	会場設定は、日程、参加者人数、会場の空き、金額、場所、交通機関等多くの条件の中から決定されます。また、当然のことですが無駄な出費は認められておりません。
14.	人数が多いので冷房も仕方の無いことかも知れませんが、私には、とても寒かったです。	大変失礼しました。各部屋に温度計を用意して管理しましたが、大きな部屋の空調機運転管理が困難なことを再認識しました。お許しください。

※アンケートにご協力いただき心から感謝します。

※池間哲郎氏の特別公演に対して、多くの方から「感動した」旨の感想をいただきました。

※本大会運営に対して、多くの称賛をいただきました。本当にありがとうございました。

## VIII. 分科会自己評価・感想

各分科会の委員長からいただいた報告書を基に自己評価しました。

### 第1分科会（橋本照夫・井村義弘）

- ・ 審査員、判定員が問題視している事に、多少なりとも解決の糸口を提供できたものと思います。会場からも積極的に意見が出され、今後の大会に対して、研修内容を提示できたと考えます。

### 第2分科会（宮寺健・津崎成幸）

- ・ 多くの地域事務局から意見を出していただいたこともあり、必ずしも事前に用意したプログラムのように討議や方向付けに論議を深めることが出来ませんでした。
- ・ 出された意見は前向きで成功事例の紹介のようになり、深刻な問題点の対策や財務基盤の脆弱性改善等の問題には踏み込めませんでした。
- ・ 連携の事例紹介がありましたが、地域事務局の諸問題の解決に有効に活用していくにはどのように連携していったらよいか等の論議が深められればさらによかったと考えます。

### 第3分科会

#### 製造業（今坂育雄・田島興治）

- ・ 参加者が少なく、審査人を除いて事業者の方は飛び入り1名を加え10人でした。
- ・ 活発な質疑応答が展開されましたが、時間不足の感は否めませんでした。
- ・ 参加企業に事前に質問事項などや相談事項などを書いていただければ、とびとびの話にならず体系的な論議展開が出来たかも知れないと思ってます。
- ・ 事業者の分科会に審査人が出席するのであれば、今後、その位置づけを明確にするべきです。

#### 建設業（寺岡昭彦・川畑義廣）

- ・ 建設業界の慢性的不景気観からか参加者が少なかったようです。
- ・ 審査人は3名の出席がありました。事業者のための分科会であり、グループディスカッション方式だったことから、審査人の参加は不自然に感じました。参加者少数により1グループしか編成できなかつたため、審査人は傍観ではなくグループに参加してもらいました。
- ・ 事業者の課題に対し、参加審査人のISOレベルの助言があましたが、事業者から実態の説明や、他の審査人のシンプルイズベスタの助言によりまとめとなりました。

#### 廃棄物処理・リサイクル業（野口寛康・田邊陽介）

- ・ 14社27名の参加をいただき、活発な意見交換・質疑応答ができました。
- ・ 参加された各人の意識と取組み意欲が高く、活発な意見交換・質疑応答により、かな

り時間が短く感じました。

- ・ 事前に参加企業から質問や意見などをもらっておくと、もっとスムーズな進行ができると思いました。
- ・ 審査書類を審査人の好みに改訂させられ困惑した事例が紹介されました。
- ・ 環境パフォーマンス指標の取り方の難しさを痛感しました。

#### サービス業（千葉透・久留正成）

- ・ ディスカッションでは、質問や情報提供など活発な交流ができたが時間不足でした。
- ・ 共通課題の説明がつながりにくかったので、事業者に判りやすくするためには後の交流・論議の中で紹介するのが良かったのではないかと思います。

#### 自治体・教育機関（田邊裕正）

- ・ 参加登録者が少なく、開催できませんでした。自治体や教育機関に対する普及に関して、更なる努力の必要性を実感しました。
- ・ 開催を前提としてご協力をいただきました山口県立大学溝手朝子先生と、21 審査人で参与の山本武先生、そして審査人の関屋建三氏にお礼とお詫びを申し上げます。

#### 事業者の為の分科会 業種別担当者名簿

業 種	担 当 者
製造業	今坂 育雄、田島 興治
建設業	寺岡 昭彦、川畑 義廣
廃棄物処理・リサイクル業	野口 寛康、田邊 陽介
サービス業	千葉 透、久留 正成
自治体・大学等	田邊 裕正、梅田 幸代

#### 分科会連絡会名簿

	氏 名	
NPO 法人九州環境カウンセラー協会	理事長	松浦 茂雄
分科会委員会 I	委員長	橋本 照夫
	副委員長	井村 義弘
分科会委員会 II	委員長	宮寺 健
	副委員長	津崎 成幸
分科会委員会 III	委員長	千葉 透
	副委員長	寺岡 昭彦
大会事務局 (EA21 地域事務局 環境技術協会)	事務局責任者	田邊 裕正
	スタッフ	山下 ゆかり

## 分科会委員会一覧

分科会	氏名	所属
審査・判定に関する分科会 (分科会委員会Ⅰ)	委員長 橋本 照夫	審査人
	副委員長 井村 義弘	判定委員 (環境技術協会)
	月川 久義	判定委員 (ECO-KEEA 九環協)
	宮寺 健	九州環境カウンセラー協会
	津崎 成幸	九州環境カウンセラー協会
	高田 重直	審査人
	中川 昭博	審査人
	小島 義博	審査人
地域事務局のための分科会 (分科会委員会Ⅱ)	委員長 宮寺 健	九州環境カウンセラー協会
	副委員長 津崎 成幸	九州環境カウンセラー協会
	藤原 成種	EA21 地域事務局 福岡
	鉄田 美香子	EA21 地域事務局 ECO-KEEA 九環協
	徳丸 浩二	審査人
	塩永 一寛	審査人
事業者のための分科会 (分科会委員会Ⅲ)	委員長 千葉 透	審査人
	副委員長 寺岡 昭彦	審査人
	今坂 育雄	審査人
	田島 興治	審査人
	田邊 裕正	審査人
	野口 寛康	審査人
	田邊 陽介	審査人
	梅田 幸代	九州環境カウンセラー協会
大会事務局	田邊 裕正	EA21 地域事務局 環境技術協会
	山下 ゆかり	EA21 地域事務局 環境技術協会

## IX. 総合自己評価

### 財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センターエコアクション 21 中央事務局

本大会が、大会事務局、九州・沖縄地域の地域事務局・審査人の皆様、その他関係各位のご支援・ご協力により、全国から 300 名を越す方々の参加をもって、成功裏にそして無事に開催できたことに、心より感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

今回の大会では、事業者様の皆様向けのプログラムを充実させたこともあり、多くの事業者の方々にもご参加いただきましたことは、とても意義深いことであると思います。また初めての試みとして九州・沖縄地域の「環境活動レポート大賞」が創設されたこと

は、この地域におけるエコアクション 21 の発展に大きく貢献するものとして、高く評価させていただくと共に、御礼を申し上げます。

一方で、研修会の時間が十分でなかった、事前の案内に不手際があった、等のご批評もいただきました。これらは反省点として、次回大会の改善へつなげていきたいと考えております。

本大会では、企画段階より環境配慮の視点を取り入れ、大会実行委員会における省エネ、省資源の取組と共に、当日の懇親会メニューでの地産（旬産）地消の推進、スタッフや参加者への事前呼びかけによる CO2、廃棄物の削減等、プラスの環境配慮にも取り組んでいただきました。現在、エコアクション 21 中央事務局では、「EA21 イベントマニュアル（仮称）」の策定に向けた検討を行っておりますが、今回の全国大会で実際にイベントの企画・運営に接する中で、一般の施設利用者と施設を共有する際の制約、参加者の快適性・利便性と環境配慮をどのように両立させるか等、具体的な課題が見えてきました。特にイベント企画段階から環境配慮の検討を行い、事前案内から開催に至る段階で、繰り返し参加者に協力をお願いすることで、実施時に大きな効果を上げることも分かりました。今回の経験を、今後のイベントマニュアル（仮称）の検討及び来年度以降の全国交流研修大会、その他講習会等の運営に活かしていきたいと考えております。

2004 年 10 月に開始したエコアクション 21 認証・登録制度も丸 4 年を迎え、年内には 3,000 件の認証・登録をさせていただくまでに成長しました。今後はこれまでの成果を発展させると共に、新たな段階へと踏み出していきたいと考えております。どうか皆様のご支援・ご協力、そして自主的・主体的・積極的な参加、活動をお願い致します。

## 大会事務局

### 【総合評価・感想】

本大会が、九州沖縄地域のエコアクション 21 関係者の皆様のご協力により実施できたことは、大変大きな成果でありました。

エコアクション 21 の普及には、関係者各位の熱意と連携による行動が不可欠です。そして、何よりも社会的な信頼を築くことを優先しなければなりませんので、コミュニケーションを密にして、まずは関係者の信頼関係構築が急がれます。その点に関して、本大会は大いに効果的であったと思います。

ご協力いただきました皆様に改めて衷心よりお礼を申し上げます。

また、特別公演、一般市民への参加広報、事業者の参画、取組事例発表会の同時開催、「エコアクション 21 環境活動レポート大賞・九州」の創設、環境配慮運営、環境活動レポートの整理と発行など、多くの新しい企画を盛り込み実施することができたことは、大会関係者の自信にもなりました。

そして、「エコアクション 21 環境活動レポート大賞・九州」は、次年度以降引き続き九州環境カウンセラー協会に移行して実施する予定でいます。このことは、多少なりと

も事業者の皆様のエコアクション 21 への取組みにおいて励みとなり、事業者間の交流と認知度の向上にも役立つことと期待しています。

この経験を全国交流研修大会の P D C A を回すべく、次回の開催に役立てていただければ幸いです。

#### 【運営に関する評価・感想】

委員会運営については、委員の皆様のご理解により、概ね環境に配慮する運営ができました。

大会計画については、できる限りの環境配慮は行われたと思います。

大会運営については、資料の配布量が多かった点が反省点です。また、空調管理や食事の適量把握については、改めて困難さを感じました。今後、検討が必要な事項です。

参加者の環境配慮行動については、皆様の意識の高さを感じました。

#### 【第 1 分科会に関する評価・感想】

第 1 分科会の審査判定に関する分科会は、事前に実施したアンケート結果を読んでいただくための導入的な役割がありました。もちろん、適切な審査の在り方について、解を出すためにディスカッションをしたわけではなく、様々な意見から、「適切な審査」について意識することで審査人全体のレベルを上げることを意図したもので、自己研鑽に役立ったと考えます。

また、提起されていたいわゆる「金太郎飴」問題についても、一応の議論ができました。審査人宇田吉明氏、宮本建男氏のご理解とご協力に感謝申し上げます。

#### 【第 2 分科会に関する評価・感想】

第 2 分科会の地域事務局のための分科会は、運営を九州環境カウンセラー協会が中心となって実施しました。これは、今まで九州環境カウンセラー協会が九州沖縄の地域事務局の情報交換会等を実施してきた実績があり、地域のリーダー的な事務局が主導するより、各地域事務局の意見を集約するには適当であったためです。

そして、今後の運営においては、地域事務局間の連携を図ることが肝要で、そのためには、審査人が何らかの形で参画し、双方のコミュニケーションを図ることが、エコアクション 21 の健全な発展につながるとともに、取組事業者へのサービスの向上が図れると考えたからです。

活発で本音が飛び交うディスカッションではなかったかもしれませんが、この分科会の運営状況から、九州における各主体の連携の在り方を全国各地のエコアクション 21 関係者の方々に知っていただき、参考にしていただければ幸いです。

#### 【第 3 分科会に関する評価・感想】

第 3 分科会の事業者のための分科会は、エコアクション 21 の主役である取組事業者に対して、総合的な研修の場を提供することで、取組の改善を促進していただくことに加

え、エコアクション21の社会への広がりを知っていただき、取組事業者の励みにもしていただきたいと考えて企画しました。

また、エコアクション21の認知度の低さを改善するようご要望もいただいていたため、その一助となるべく考えたものです。

どの業種も参加事業者が少ないうえ、審査人の参加もあり、進めにくかった点があったようです。今後は、事業者の参加数も今回以上に増えるでしょうから、審査人は、本来の審査に関する力量の向上のための研修に参加していただくことが適当と言えます。

参加した事業者の方々には、概ね満足していただいた旨の感想が寄せられています。

#### 【懇親会に関する評価・感想】

友情出演の環境落語と、自治体認証登録をしている山鹿市の山鹿灯籠踊りで始まった懇親会は、地元熊本県の食材を中心に献立を構成しました。マイ箸持参率が高く、残食も少なかったので、環境に配慮できたと思いますが、お料理の量が適当であったか否かについては、不安もあります。

懇親会全体としては、大変楽しく交流ができたと感じています。

#### 【エコアクション21環境活動レポート大賞・九州表彰式に関する評価・感想】

事業者の取組みを、全国の審査人をはじめとする関係者の方々があたたかく称賛し、表彰式が行われたことは、取組事業者にとって大いに励みになったことと思います。

この企画が、各地域でも実施され、エコアクション21の認知度が上がることで、少しでも普及促進に役立つことを願っています。

しかし、「地域の表彰を見せるのはよけい」との意見が寄せられたことに対して、驚きを感じるとともに、私たちの意図を伝える努力が足りなかったことを反省しています。

#### 【取組事例発表会に関する評価・感想】

取組事例発表会は、全国大会に引き続き、研修外の企画として実施しました。全体としては、事前の登録よりもはるかに多くの参加をいただき、各業種とも大いに参考になる事例発表が行われました。

しかし、大変に残念なことです。審査と勘違いされたのか、参加した審査人の方から適当とは言えない指摘を受け、議論になってしまった例が報告されました。前日の審査・判定のための研修が、成果を上げていない感じがして反省させられました。

好ましい取組事例として選定され、仕事の手を休め、遠路交通費等の出費をして参加いただいた事業者の負担や心情、そして、発表をお願いした関係者への配慮がいただけなかったことを大変哀しく思います。また、担当のコーディネーターが上手くリードできなかったことに対しても、事例発表をいただき不快な思いをされた方に対して、深くお詫びを申し上げる次第です。



## X. 参加者の感想等

### 環境活動レポート大賞受賞者・竹迫みのり保育園園長 上村 りえ子 様

特別講演の池間先生の講演は大変感動致しました。

「懸命に生きる子ども達」に多くのことを学ばせて頂いたと思います。

京都の龍安寺の石庭には、吾れ唯だ足るを知ると刻まれている様に仏教では、少欲知足を大事にしています。

今の日本の子ども達（大人も含め）は、物が溢れていて、大切にしている心が少なくなっていると思います。物を大切にすることはなく、人を大切にしている心、命を大切にしている子どもを育てていきたいと思っています。

又、環境活動レポート大賞を頂き、有難うございました。

レポート発表当日は、当保育園の職員と、保護者の方々も積極的に参加頂き、これからも益々精進しなければと、新たな決意を致しました。環境活動の輪が益々広がって、みんなが住み良い社会になるよう、出来るところから少しずつ進めて行きたいと思っています。

お世話になりました。有難うございました。これからもご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 環境活動パフォーマンス大賞受賞者・株式会社シグマ 池上 敏昭 様

エコアクション21全国交流研修大会・in九州において、第一回の「環境活動パフォーマンス大賞」を受賞し、表彰式に緊張して出席しました。とても素晴らしい表彰式で、心より御礼を申し上げます。弊社は、2008年2月に認証を取得して、まだ1年未満の短い期間ですが、今回の受賞は、「弊社の今後の環境活動について、皆様の期待が大きいこと」だと思っております。

午後は、業種別に事例発表があり、参考になる事例や導入したい事例もたくさんあり今後、是非このような事例発表の機会があれば、エコアクション21認証取得企業や団体が、環境活動での交流を通して、それぞれの場で活性化できるのではと期待をしております。

関係者の皆様に大変お世話になりました。この場をかりましてお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

### 研修会参加事業者 ソーダニッカ株式会社 安広 光男 様

当社は、全国9か所に事業所を持つ化学品専門商社です。全国大会には、全社統括の事務局と開催地近くの事業所員がペアで毎回参加してきました。

過去2回は審査人、地域事務局が主たる対象との印象でしたが、今年は一般市民の方や事業者への配慮や工夫もなされ、とても印象に残る大会でした。特に池間哲朗氏の講演には心を打たれましたので、早速DVDを購入して今年度下期の社員環境教育（鑑賞後に環境問題とのかかわりを討議してもらう）に使用することにしました。

ありがとうございました。静岡大会にうまくバトンタッチしてください。

研修会参加事業者 松本建設株式会社 結城 圭二 様

EA21 全国大会に参加して、全国の方々の取り組みの様子がよくわかりました。環境省の取り組みやこれから、EA21 の進む方向がうっすらではありますが見えてきた感じがします。事例発表では、九州地区の優れた取り組みの会社の事例を拝聴し、自社の取り組みレベルの低さを痛感しました。しかし、自社の取り組みを考えると色々と自社の優れた点や劣っている点に気がつきこれからの EA21 の取り組みの中で自社の考え方や方法の指針にとっても役立ちました。

また、業種別のプログラムでは、同業者の取り組みや考え方などとても勉強になりました。地域事務局でも、年に1・2度勉強会をかねて、業種別の懇談会を開催されたいかがでしょう。

## Ⅵ. 環境活動レポート大賞概要

今回の全国交流研修大会では、九州・沖縄地区限定でエコアクション21取組事業者の事例発表者を募集し、多くの応募者の中から優秀な事業者を選定・表彰いたしました。

表彰内容は、下記のとおりです。

- ・エコアクション21環境活動レポート大賞・九州

特に環境コミュニケーションツールとして優れたもの

- ・エコアクション21環境活動パフォーマンス大賞・九州

事業特性に見合った取組を行い、その成果が大きいか、又は期待できるもの。

- ・エコアクション21エネルギー部門賞

特に省エネルギーに関する取組に優れ、その成果が大きいか、又は期待できるもの。

- ・エコアクション21水部門賞

特に節水や水環境の保全に関する取組に優れ、その成果が大きいか、又は期待できるもの。

- ・エコアクション21廃棄物部門賞

特に廃棄物の削減やリサイクルに関する取組に優れ、その成果が大きいか、又は期待できるもの。

全国交流研修大会 in 九州熊本での開催を記念し創設した本事業ですが、選考規程の作成やプロセスにおきまして、九州各地の地域事務局をはじめ、多くの環境カウンセラーやエコアクション21審査人の協力のもと実施することができました。もちろんのこと初めての経験であり、改善しなければならない点が多くあることを実感しております。

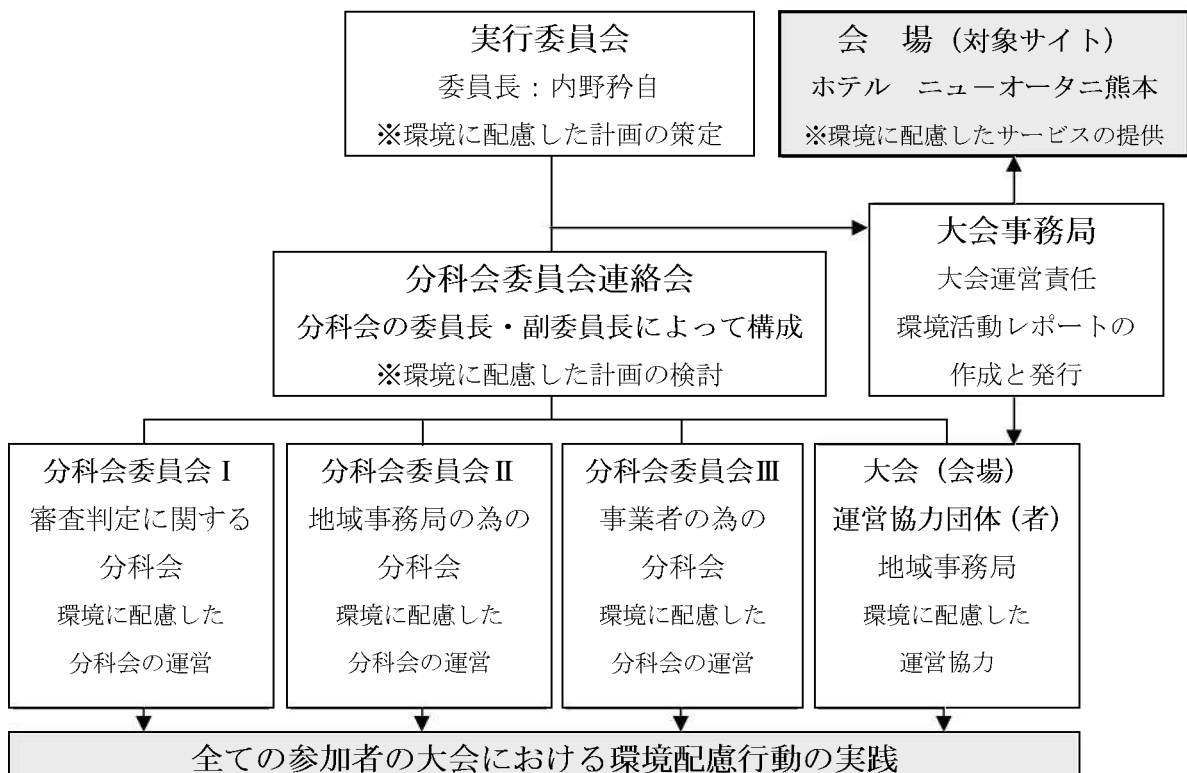
次年度より、今事業者、NPO 法人九州カウンセラー協会の事業として継続して実施してまいります。

## 選考結果

エコアクション21環境活動レポート大賞・九州	
<p><b>社会福祉法人 慈照会 竹迫みのり保育園</b></p> <p>保育園らしい可愛いレポートにまとめられており読みやすい。保育園の様子が年間行事計画とともに伝わってくる。次年度の取組の目標及び行動計画が、適切に設定されている。また、本業における取組として、幼児期から環境意識を教え込むなど、環境しつけ（教育）や家庭との連携による地域社会への広がりが期待される。</p>	
エコアクション21環境活動パフォーマンス大賞・九州	
<p><b>株式会社 シグマ</b></p> <p>電気設備、空調設備、給排水衛生設備の設計・施工を業としており、特に ESCO 事業を自社に導入してその省エネ効果を確認し、普及事業として新エネルギーである太陽光発電の導入等、現代にマッチした業務展開は評価される。また、二酸化炭素削減や廃棄物の分別回収などにおける実績評価もすばらしく、パフォーマンス大賞としてふさわしい。</p>	
<p>エコアクション21 水部門</p>	<p><b>沖縄市管工事協同組合</b></p> <p>節水活動に関しては、どの事業所も積極的に取組んでおり、甲乙つけがたい。その中で、業種の特性を生かし、雨水の利用を積極的にすすめている取組が評価された。また、取組結果の評価が図で示されているなど、パフォーマンスがわかりやすく、評価も適切で今後の取組みが期待される。</p>
<p>エコアクション21 エネルギー部門</p>	<p><b>沖縄市管工事協同組合</b></p> <p>取り組み成果に向上が見られ、結果の評価や表示が図入りで紹介されるなど読みやすく、パフォーマンスの把握にまとまりがある。その他の事業者は甲乙つけがたく、水部門と重複して選考した。</p>
<p>エコアクション21 廃棄物部門</p>	<p><b>有限会社 坂井商店</b></p> <p>事業における廃棄物のマテリアルバランスの確認や、環境活動の評価など、図示により適切にまとめられており、理解しやすいところが評価された。今後の更なる展開を期待したい。</p>
<p>エコアクション21 奨励賞</p>	<p><b>株式会社 アラオ</b></p> <p>とても丁寧にまとめてあり、熱心に取り組まれていることが環境活動レポートから読み取れる。今後、図や表を入れるなどの工夫を期待したい。</p> <p><b>大口酒造 株式会社</b></p> <p>表紙や内容のまとめが、業種をよく表しており、読んでみたいと思わせるレポートになっている。しかし、業種に合わせた指標設定等、継続的取組につながる評価方法を検討し、今後の更なる展開を期待したい。</p>

## XII. 実行委員会名簿と組織表

担 当	所 属	職 責	氏 名
委員長	EA21 地域事務局環境技術協会	運営委員長	内野 矜自
副委員長	EA21 中央事務局	次長	森下 研
副委員長	NPO 法人九州環境カウンセラー協会	理事長	松浦 茂雄
監事	環境省九州地方環境事務所環境対策課	課長	山口 徹
監事	熊本県環境生活部環境政策監 兼環境政策課環境立県推進室	室長	森永 政英
委員	熊本市環境保全局環境保全部環境企画課	課長	前野 清隆
委員	山鹿市役所環境部環境課	課長	斉藤 憲二
委員	NPO 法人九州環境カウンセラー協会	会員	梅田 幸代
委員	EA21 地域事務局福岡	事務局責任者	藤原 成種
委員	EA21 地域事務局 ECO-KEEA 九環協	事務局員	鉄田 美香子
委員	EA21 審査人	審査人会発起人	千葉 透
委員	EA21 審査人	審査人会発起人	寺岡 昭彦
委員	NPO 法人環境技術協会	副理事長	龍崎 哲夫
委員	NPO 法人環境技術協会	副理事長	今村 賢一郎
委員	地域判定委員	委員長	井村 義弘
大会事務局責任者	EA21 地域事務局環境技術協会	理事長	田邊 裕正
大会事務局	EA21 地域事務局環境技術協会	事務局責任者	山下 ゆかり
大会事務局	EA21 中央事務局	スタッフ	河野 磨美子



# 大会スナップ写真！







エコアクション21全国交流研修大会 in 九州くまもと2008 環境活動レポート

◆ 大会事務局（エコアクション21地域事務局 環境技術協会）

〒861-8074 熊本県熊本市清水本町18-18

TEL : 096-345-3808 FAX : 096-346-5126

E-mail : [ea21@eta.gr.jp](mailto:ea21@eta.gr.jp)

◆ エコアクション21中央事務局

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル4F

TEL : 03-3509-7903 FAX : 03-3509-7847

E-mail : [cfs@ea21.jp](mailto:cfs@ea21.jp)

※資料の無断転載はご遠慮下さい。